

川崎地域連合

川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練へ参加！

新設されたJR川崎駅北口通路を滞留場所に

11月21日（水）、JR川崎駅北口において、JR駅係員、誘導係員、帰宅困難者など様々な団体より約140名が川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練へ参加しました。



はじめての一時避難場所となった川崎駅北口通路



訓練の目的と行動を説明する川崎市職員

毎年、大規模地震発生時の川崎駅周辺における滞在者の安全確保と混乱の抑制を図るため、川崎駅周辺において、関係施設が連携し、安全確保、避難誘導、一時滞在施設の開設対応など、帰宅困難者の対策訓練を行うものです。

今年度は、14時46分に大規模震災が発生した想定で、2018年2月に新設したJR川崎駅北口通路を一時避難場所に設定して行われました。川崎地域連合からは要請された2名が参加しました。



連絡を取り合うJR係員



車いすを階段から降ろす
介助をする中尾事務局次長



一時滞在施設でアンケート対応をする参加者